

在宅医療出前講座 アンケート集計

家で過ごすための医療 ～ 暮らしを支える在宅医療 ～

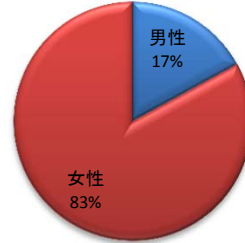
平成26年 5月19日 就将公民館

講師 谷口 晋一 先生 (鳥取大学医学部附属病院)

回収率73%(41人/56人)

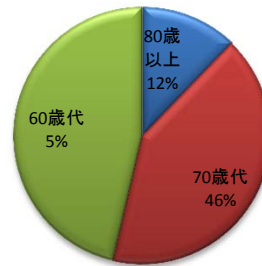
★ 性別

	件数	割合
男性	7	17%
女性	34	83%
合計	41	100%



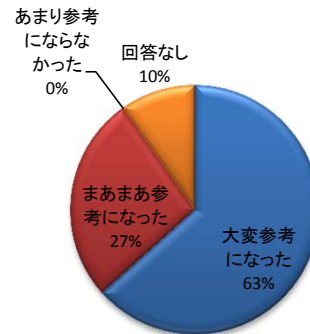
★ 年齢

	件数	割合
80歳以上	5	12%
70歳代	17	41%
60歳代	19	46%
50歳代	0	0%
40歳代	0	0%
39歳以下	0	0%
合計	41	100%



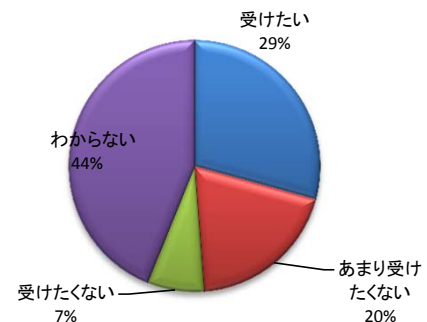
★ 講演はいかがでしたか。

	件数	割合
大変参考になった	26	63%
まあまあ参考になった	11	27%
あまり参考にならなかった	0	0%
難しかった	0	0%
わからない	0	0%
回答なし	4	10%
合計	41	100%



★ 在宅医療を受けられますか。

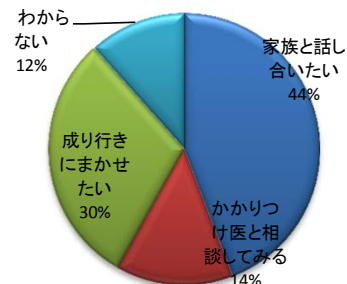
	件数	割合
受けたい	12	29%
あまり受けたくない	8	20%
受けたくない	3	7%
わからない	18	44%
無回答	0	0%
合計	41	100%



★ 自分の逝き方について

(複数回答あり)

	件数	割合
家族と話し合いたい	19	44%
かかりつけ医と相談してみる	6	14%
成り行きにまかせたい	13	30%
考えたくない	0	0%
わからない	5	12%
無回答	0	0%
合計	43	100%



自由記載覧

今日の講演のご感想や今後この講座で聞いてみたい内容、その他、西部医師会へ聞いてみたい事など何でも結構ですので、ご自由にお書きください。

・主人が病院で亡くなりましたが、亡くなる4日前に「冷たいソーメンを一口食べたい。」と言ったが看護師に絶対に駄目と言われたが、死ぬ時くらい好きな物を食べさせてやりたかったと。常に心に残るので、今は私一人だが、どうしたら良いか？食べたい物を食べさせてやりたかったと思った。先生の所と同じ平成14年の事でした。

・谷口先生のような着取りに理解のある医師が多く増えていただく事を願っています。(頑張ってください。お願いいたします。)パソコン画面を見て応答する医師が多く残念でなりません。やはり「教育」が大切で基礎と成ると思います。

・いつか来るその時の事考えたくないですが、不安がいっぱいです。一人ぐらしなので…

・今日の話は具体的で本当によくわかりました。私も糖尿病で他の先生に見てもらっていますが、谷口先生のような先生に指導してほしいと思いました。

・在宅医療のお話を聞いて本当に良かったと思います。これからよく考えてみたいと思います。本当に良かったと思いました。

・一人暮らしの私、今までまだ先の事だと思っておりましたが、改めて考えさせられる話でした。

・今日の話、具体的な話でとてもわかりやすくありがとうございました。

・家族に迷惑はかけたくない気持ちが大きい。

・家族のいないのは不安です。

・一ヶ月前に義父を病院で亡くしましたが、家から近い(地区内)病院で周りからは悪く言われている病院でしたが、看護師さんも心をつくして看護してくれましたので、とても感謝しています。好きな食べ物も持参したり私なりに心をつくし良かったと思っています。父は心臓弁膜症でした。

・介護職として30年近く働いてきましたが、昔と今では介護の仕方もずいぶん変わってきました。今は人権を尊重されとてもいい時代になったと思います。今日はありがとうございました。

・後輩のおられる先生の所に行かれた最後の話が、やはり良かった。病院は治療するのではなく痛みを取るだけといわれる。人のつながり、在宅という事につながると思った。

・自分の死に方について考えていなかった。主人がおりますので、主人を先に看取ってからと思っておりましたが自分も80近くになり今日は実感しました。どちらが先か後かわかりませんね。

・近年身近にあらに逝った人、近々逝きそうな人を知ってるがむずかしいです。人それぞれの生き方、生きてきたことによって決まるのかなあと思う今の頃です。

・いただいたあんしん手帳を活用したい。病気の告知はしてほしいので、普段から家族と話あっておきたい。